

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護における 計画上の定員数と現状

令和7年8月
松江市介護保険課

1. 経過

- ・社会福祉法人若幸会が経営する地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（以下「地域特養」）「わこう荘」が今年 5 月 31 日に廃止され、有料老人ホームに転換された。
- ・廃止の理由として同法人は、基準省令上の人員確保が困難であることを挙げている。
- ・令和 7 年 5 月 31 日時点での入所者は 19 人（定員 29 人）。

地域特養廃止時以前からの入所者については、転換後の有料老人ホームに引き続き居住する。利用者負担額は従前のままとし、6 月 1 日以降の新規入所者からは新しい有料老人ホームとしての料金を徴収している。

また訪問介護等を新規併設することで、入所者への介護サービス提供を継続している。

2. わこう荘廃止を踏まえての現状

- ・わこう荘が有料老人ホームに転換した以降、「松江市高齢者福祉計画・第 9 期介護保険事業計画」に記載する施設整備計画上の「地域特養」の整備計画は、

計画	174 床
現状	145 床

となり、29 床の差異が生じている状況。

- ・現在松江市内にある地域特養の平均入所者数（令和7年4月1日現在）は以下のとおり。

サービス種別	施設数	平均入所者数 （定員 29 人）	平均入所率
地域特養	5 施設	26.8 人	92.4%

- ・5 施設中 2 施設が満床とサービス種別全体として入所率は比較的高く、地域密着型を含めた特別養護老人ホームには一定のニーズがあると考ええる。

3. 今後の対応案

- ・現状のニーズを踏まえると、わこう荘に代わる地域特養の整備が必要と考える。
- ・地域特養については総量規制の対象であることから、新規整備を行う際は松江市が公募を行い整備事業者を決定することになる。
- ・今後は公募実施に向けた準備を行いつつ、市内事業者の状況把握を行っていく。